

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	ももたろうの郷さわやか苑
日付	平成18年2月10日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	病院での相談援助業務歴31年、家族介護歴13年、介護支援専門員歴3年 病院での認知症高齢者の看護、介護及び相談援助業務歴24年
自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)	
評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)	
事業所のコメントを見る(評価結果に対する事業所の改善状況についてコメントがあります！)	

外部評価の結果

講評
全体を通して(特に良いと思われる点など)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体者の医療機関が運営するクリニックが1階にあり、医療との連携がしやすく、家族・入居者にとって安心できる環境です。 ・ホームはバスの停留所にも近い街の中に位置しています。すぐ近くにスーパーや商店があり、買物もしやすい便利な地域です。 ・入居者は、思い思いに、自由にのびのびと過ごされている様子が感じられました。
特に改善の余地があると思われる点
<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の安全をめざしておられますが、屋上に上がる階段周辺や屋上に荷物や道具類が置いてありました。昨年もご提案申し上げたとおり、入居者も屋上を利用されていますので、安全面への配慮から、整理整頓が必要ではないでしょうか。 ・申し送りはされていますが、全ての職員に申し送り内容が確実に伝わる仕組みがありませんでした。記録として残し、確実に伝わったことも確認ができる仕組みを検討されてはいかがでしょうか。 ・服薬の支援について、服薬直前の手渡しと、服薬支援の確認ができる仕組みが必要と思われます。 ・入居者の呼称について、職員の思いこみで、一方的に呼んでいないか、常に本人や家族の視点に立った対応となっているかの確認をすることが必要ではないでしょうか。 ・代表者と管理者は話し合える関係にありますが、実現には時間を要することが多いようです。今後、意見交換されたことを実行に移せるよう、協働して取り組まれてはいかがでしょうか。

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホ - ムに入居してからも、入居者の一人ひとりが、本来の生活に近い生活ができるような支援をめざしています。 ・部屋に閉じこもるのではなく、他の入居者とも、和気藹々と楽しく一日を過ごせるような支援をめざしています。 ・入居者が怪我をしないように、安全への目配り、気配りを心がけています。 ・入居者一人ひとりの個性を大切にされた支援をめざしています。 ・家族との連携を大切にされたホーム運営をめざしています。 		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり		
4	建物の外周リや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者のベ - スに合わせることを大切にして、強制したり、無理強いをしないようにしています。 ・職員が、大きな声を出したり、慌ただしくしないようにしています。 ・職員は、声かけをしながらも、入居者のゆっくりペースを見守り、先回りした支援をしないようにしています。 		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のために取り組んでいるものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者の持っている力を、それぞれに引き出す支援をしています。 ・プライバシ - 保護の面では、着替えは必ず居室できるように配慮しています。また、入居者の病気のことや、家族の事情を他の入居者の前で話さないようにしています。 ・記録物を置きっぱなしにしないようにして、鍵のかかる棚に保管したり、シュレッダーにかけています。 ・面会簿には、家族の住所は記入しないなどの改善をしました。 ・研修などで、プライバシ - 保護に対する職員の意識を高めていく取り組みをしています。 		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。		
	<ul style="list-style-type: none"> ・入居者へのサービスの質の向上に向けて、内部研修の充実・外部研修への積極的参加・他施設の見学などに取り組み、努力をしていきたいと思っています。 ・ヒヤリ・ハット報告書を基にして、職員同士で話し合い、問題点や課題点を共有して、更に改善点を考えていきたいと思っています。 ・「事故報告書」や「ヒヤリ・ハット報告書」を提出した職員には、管理者はすみやかに、声かけなど心理的ケアをするようにしています。 ・防災訓練を年2回行っています。 		